

令和6年3月25日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

「市民のつどい場」報告書

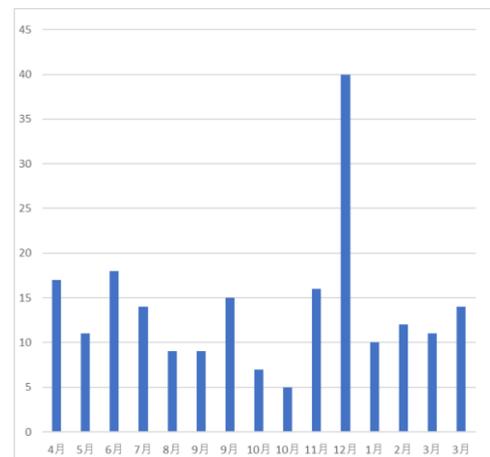
1 日 時：4/16 5/28 6/25 7/23 8/27 9/14 9/24 10/5 10/29 11/26
12/24 1/28 2/25 3/24

2 会 場：リードあしや オープンスペース1 他

3 担 当：橋野 出口

4 参加者：延べ208人

12月はスペシャル版とし「ソーシャルグッドなつどい場」を1日実施30人定員のところ、40人の参加があった。



5 事業詳細

(1) 目 的：芦屋に住んでいる人、働いている人、学んでいる人、活動している人、芦屋に関わっている人たちが集まり、自分のことを語る、日常を語る、だれかとつながる、みんなの話を聞く、みんなでワイワイできる居場所づくりを目的とする。

(2) 内 容：ちょいナビは「たかさん」、グラレコは「なみさん」による運営で月1回の場づくり。12月は参加者と協働運営でスペシャル版を実施。

6 参加者の感想

- ・ほっこりとした、落ち着いた雰囲気が、とても居心地よく感じました。そういう中でそれぞれの人から語られる想いに、刺激を受けたりひらめきが湧いてきました。自分の中のブラッシュアップにもなっているように思いました。
- ・ゆるくも深い対話の場で楽しかったです。
- ・毎回、新しいキーワードやテーマが出て来まして、新鮮且つレベルアップをしている感じが致します。
- ・とてもお話しやすい雰囲気のなか、みなさんの色々なお話を聴けて楽しかったです。草郷先生のファシリテーションも素晴らしかったです。
- ・今朝も少し体がだるかったのですが、つどい場を楽しみにしていたので、体は、支度をして向かっていました。会場に入って、みなさんの顔を見ると、元気が出てきました。いまでは、つどい場は元気をもらえる場所です。
- ・多世代の方と話を出来た方が一番刺激的でした。特に中学生のお二人の意見を聞

いて、若い力が頼もしく思えて、芦屋ってすごい！

7 振り返り

- ・新規の参加者が毎回2人ほどあり、12月のスペシャル版では40人中13人であった。人の数だけ意見もあり、感想でもあるように、自団体のカンフル剤として持ち帰っている方もいた。
- ・毎回、グラフィックレコーディングで議事内容を示すことで、理解力がアップし参加者のモチベーションが上がってきた。
- ・毎回の参加者アンケートでは、半分以下の方しか回答をいただけていない。スペシャル版では、終了時、出口でアンケートを行い、ほぼ全員の方に回答いただいた。ネガティブな意見はなく、満足度は大きかったようだ。このように、その場でご意見を書いていただくのか、もうひとひねり工夫の必要性を感じている。
- ・国際、環境、さまざまな観点を見聞きすることで、次年度事業の参考になった。また、協働の相手として活動支援が広がってきつつある。
- ・12月のスペシャル版を開催するにあたり、参加者の中から参画者を募り、次の担い手育成に努めた。令和6年度は担い手の実践に取り組みたい。

以上

